

# 令和5年度 活動報告書



砂川市 地域おこし協力隊 片岸直也

(経済部農政課・委嘱)

令和5年度の砂川市地域おこし協力隊員としての1年目の活動についてご報告します。

### ・活動の目的

砂川市内で新規参入農家（新規就農者）として経営を開始することを目標とし、そのために必要な諸スキルを習得することを主目的として活動させていただきました。

### ・活動概要

①市内の農家さん（関尾農園、梶尾農園、渡邊農園）での実地研修

⇒次項にて詳説

②農業大学校（本別町）や花・野菜技術センター（滝川市）等での講座・研修受講

③SNSでの活動内容の発信

### ・実地研修について

令和5年度の実地研修では、主に関尾農園様にお世話になり、就農時の希望作物であるきゅうりの栽培について研修させていただき、1シーズンの流れを学ぶことが出来ました。またミニトマトの栽培に関しても、部分的に学ばせて頂きました。

以下、作業内容の詳細です。

○キュウリ管理・収穫作業

(1) 初期（収穫開始前）

研修の都合上、きゅうりの定植から背丈40cm程までの成長過程は見られなかったものの、その後の脇芽取りからは実際に作業を行いながら見る事が出来た。地面から40cmの高さまでは脇芽・実共に摘除し、それ以降は子づるを1節～2節残して摘心作業を繰り返した。

(2) 中期（収穫開始・最盛期）

収穫開始後は、早朝より収穫作業、日中は管理を行った。管理作業は、葉かき作業と摘心作業、誘引作業がメインであった。作業スピードの向上を目標とし、シーズンを通して実用的に近い作業スピードを身に付けることができた。

(3) 終盤（収穫後期）

収穫後期も、作業内容は基本的には前項の(2)と同様であった。樹が弱くなってきた時期からは、株元への液肥の灌注作業も行った。

### ○ミニトマト定植・初期管理作業

定植前の数日に畝のマルチシートに穴開け。

定植作業は、育苗ハウスから軽トラックで運搬されてきた苗を各穴に一輪車で配り、それを定植していくものである。苗を配る作業と定植作業は、二手に分かれて同時並行で行う。一輪車への積み込みの際、苗を傷つけないように注意が必要。定植後は、各株元に灌水。この作業自体は、キュウリと同様。

〈以上、作業内容の詳説〉

また、春には、玉ねぎの定植作業と田植え作業の現地研修をさせていただき、施設園芸以外の作物の作業についても体験させていただきました。期間が短かったこともあり、多くを学ぶことはできませんでしたが、施設園芸以外の作物に触れ、良い刺激になりました。自身が栽培する作物に応用できる知識や技術があれば、積極的に導入したいと思います。

### ・研修風景の紹介（一部）

・ビニールハウスへのビニール張り作業



・ポットへの土入れ作業



・脇芽取り作業（右：ミニトマト・左：キュウリ）



・玉ねぎ定植作業



・田植え作業



・キュウリ収穫作業



・キュウリ摘葉作業



・ハウスの片付け作業



・2年目に向けて

1年目はキュウリ栽培を主に様々な作業を経験しました。

例年に比べ異常な高温だったこともあり体力的に大変な部分はありませんでしたが、耐性はついたと思います。

2年目は1年目の経験を踏まえ、より高度な技術習得を目標に活動します。

1つ1つの作業も就農後をイメージしながら、各作業の目的・背景への理解を伴いながら丁寧にかつスピードを意識して行いたいと思います。また並行して就農に向けた準備も進めていき、余裕を持ったスタートを切れるようにしたいと思います。